



読むこと 詩

組

番 名前

たしかめよう

(高学年)

【詩】 様子などについて、表現をもとに想像して読む。

① 次の詩を読んで、感じたことをグループで話し合っています。あとの問いに答えましょう。

【グループの話し合いの様子】

明日 新美 南吉

はなぞの
花園
みたい
にまつ
ている。
祭
みたい
にまつ
ている。
明日
がみん
なをまつ
ている。

第1連

草の芽

あめ牛、てんと虫。

明日はみんなをまつている。

第2連

明日はさなぎが蝶になる。

明日はつぼみが花になる。

明日は卵がひになる。

第3連

明日はみんなをまつている。
泉のようにわいている。

ランプのように点つてる。

第4連

* あめ牛(黄牛) : 黄色の毛の牛
* てんと虫 : てんと虫

一 ゆみさんの発言の

A

一つ選んで、番号を書きましょう。

にあてはまる表現の効果を、次の1から4の中から

1 くりかえし 2 たとえ (ぎ人法)

3 しょうりやく

4 ぎ声語

二 こうたさんの発言の

B

き出して、それぞれの発言の中に書きましょう。

C

にあてはまる言葉を、本文中からぬ

三 あすかさんの発言した理由として

D

しいものを、次の1から4の中から一つ選んで、番号を書きましょう。

1 前進 2 変化 3 発達 4 成長



では、今度の六年生を送る会での学級の出し物の一つに、元氣の出るこの詩を朗読したらどうかしら。



ぼくは、最後の第四連に感動したよ。明日という日は、わいてくる泉のようにパワーがみなぎっている気がする。



わたしは、第三連が一番好きだわ。なぜなら、明日になれば、自分自身もできるような気がするから。



しかも、第一連では、「B」みたい、「C」みたいなというように、にぎやかなものに、たえているね。



そうね。「みんなをまつている」というAの表現が、何度もできて、とてもわくわくするわ。



新美さんは、明日という日がとても明るく、希望に満ちたものであると表現している様に感じるわ。